

第25回 (天璋院篤姫のふるさと探訪(鹿児島市))

篤姫がもつと身近に生まれ育ったまち 鹿児島城下を巡る

鹿児島は広い!旅ガラスのごとく広い県土を飛び回り、鹿児島の観光地を紹介します。
今回から6回にわたって「天璋院篤姫のふるさと探訪」と題して、薩摩が生んだファーストレディー
天璋院篤姫ゆかりのスポットを紹介します。

篤姫がそこにいたという感慨。

① 鹿児島(鶴丸)城跡・県歴史資料センター黎明館

099(222)5100

〔営〕午前9時～午後5時
〔休〕月曜日(祝日の場合翌日)、毎月25日(土・日・祝開館)、12月31日～1月2日
〔料〕大人300円、高・大生190円、小・中生120円

篤姫が薩摩藩主島津斉彬の養女となり、輿入れのため江戸に上るまでの2ヶ月間を過ごした鹿児島(鶴丸)城。本丸は現在の黎明館の敷地にあり、二の丸は県立図書館から県立博物館の辺りまでありました。現在も濠、石垣、石橋など当時のものが残っており、これらは県指定史跡になっています。



篤姫「One More Stay」ルート

- ◀(出発)鹿児島中央駅
- ◀シテイビュー1号
- ① 鹿児島(鶴丸)城跡・黎明館
- ◀シテイビュー1号
- ② 今和泉島津家本邸跡
- ◀シテイビュー1号
- ③ 仙巖園・尚古集成館
- ◀シテイビュー1号
- ④ 石橋記念公園・石橋記念館
- ◀シテイビュー1号
- ⑤ かしま水族館(いおワールド)
- ◀シテイビュー1号
- ⑥ 篤姫館(ドルフィンポート内)
- ◀シテイビュー1号
- ⑦ 天文館
- ◀シテイビュー1号
- ⑧ 鹿児島中央駅

◎鹿児島中央駅からは周遊バス「かごしまシティビュー」利用がおすすめです。
※営業時間や休業日などは変更となる場合もありますので、おでかけ前に各施設にお問い合わせください。



春は桜、夏は蓮が城壁を彩ります。

黎明館企画特別展「天璋院篤姫展」が開催されます。
《会期》9月6日(土)～10月17日(金)
《料金》未定
篤姫と彼女をとりまく人々ゆかりの品、江戸城大奥の華麗な調度、幕末の騒乱を伝える歴史史料などを紹介しながら、篤姫の波乱に満ちた生涯をたどる展覧会です。



篤姫ゆかりの資料も展示されています。



黎明館には隼人の歴史、島津氏の統治、明治維新など鹿児島の歴史を物語る資料が多く展示されており見応えがあります。

② 今和泉島津家本邸跡

鹿児島市観光企画課 099(16)1344

篤姫の生まれ育った今和泉島津家は鹿児島(鶴丸)城の東北に位置する大竜寺の隣にありました。約4千600坪の広い屋敷だったそうです。
今は、残念ながら石垣しか残っていませんが、篤姫のファンならぜひとも訪れたいところ。

周辺には、篤姫の養父島津斉彬が眠る福昌寺墓地や西郷隆盛を祀った南洲神社、西郷隆盛をはじめ西南戦争で亡くなった人が眠る南洲墓地があるので、あわせて散策してみてください。



石垣の前に立つと篤姫の時代に戻ったような気持ちに。



「篤姫」キャンペーン
オフィシャルキャラクター

桜島に抱かれて、育まれた歴史と文化。

ドラマロケ地情報

③ 仙巖園・尚古集成館

099(247)1551

〔営〕午前8時30分～午後5時30分 〔休〕無
 〔料〕庭園コース1000円、御殿コース1500円
 江戸時代の初め、島津家の別邸として建てられた仙巖園。篤姫が生きていた時代の風景がそのまま残っている場所です。



桜島を築山に、錦江湾を池に見立てた雄大な借景が、訪れるものの心をとらえます。

広い園内には、明治時代に島津家の本邸としても利用された御殿、日本で初めてガス灯をともした鶴灯籠、琉球の国王から献上されたたと伝えられる望嶽楼など、歴史を物語る史跡が数多く残されています。
 隣接する尚古集成館は、島津斉彬が進めた製鉄、造船、紡績、ガラス製造、出版など、近代化事業の拠点。激動の幕末、日本を動かした薩摩藩の象徴ともいえる建物です。
 県の伝統的工芸品薩摩切子はこの事業で研究開発されたものです。



尚古集成館本館。国指定重要文化財。現在は集成館事業とこれを進めた島津家の歴史を語り継ぐ博物館となっています。



御殿コースでは、ガイドが往時の生活ぶりを部屋ごとに案内し、最後にお茶と茶菓子が振る舞われます。



仙巖園では、藩邸や篤姫の行列、お茶屋のシーンなど、さまざまなロケが行われました。現在、園内には、その時のお茶屋のセットが再現されています。

ドラマロケ地情報

④ 石橋記念公園・石橋記念館

099(248)6661

〔営〕午前9時～午後5時
 (7月～9月は午後7時まで)
 〔休〕月曜日
 (祝日の場合翌日)
 〔料〕無料



九州街道の道筋にあって城下の玄関口であった西田橋。19歳の篤姫は將軍家に嫁ぐためこの橋を渡り江戸に向かい、二度と薩摩に戻ることはありませんでした。

江戸末期に肥後から招かれた石工・岩永三五郎によって造られ、長い間人々に親しまれてきた「甲突川の五石橋」。このうち西田橋、高麗橋、玉江橋を移設復元したのが石橋記念公園。精緻なつくりのアーチ橋は、ノスタルジックであるとともに現代に通じる見事さで強く印象に残ります。石橋記念館では五石橋の歴史や橋を架ける技術や、模型や映像を使って紹介しています。その技術の高さには驚かされます。



石橋記念公園では、大名行列が鹿児島城下に入る場面の撮影が行われました。石橋越しに見る桜島の城下町風景はドラマの中でもしばしば登場しています。

もつと知りたい。

⑤ 篤姫館(ドルフィンポート内)

099(216)2722

〔設置期間〕平成21年1月12日まで
 〔営〕午前9時～午後6時 〔休〕無
 〔料〕高校生以上500円、小・中生250円
 篤姫の激動の生涯を数々の展示で紹介しています。大河ドラマ出演者のインタビュー映像が流れ、ドラマで出演者が実際に着用した美しい衣装や、小道具・調度品などが展示されており、ドラマの世界にひたる(こと)ができます。



大奥の御鈴廊下のイメージが再現された華やかなエントランス。



さまざまな資料を参考に江戸城大奥の篤姫の居室イメージを再現したものです。

いちおし

◎ 篤姫プレート

● 地中海料理レストランポルトカーサ(ドルフィンポート内) 099(221)5885
 〔営〕〔平日・祝〕午前11時～午後10時
 〔土・祝前日・連休初日・連休中日〕午前11時～午後11時



篤姫プレート(1,575円)
 ※1日限定10食、ランチタイム終了まで
 篤姫館のオープンにあわせて企画されたランチプレートが好評。篤姫館を観望したあとに注文する人が多いとか。
 桜島を眼前に、篤姫が好んで食べたという白インゲン豆や高菜、レイシのほか、地元鹿児島島の食材を使ったオリジナル料理で舌鼓を打てば、篤姫談義もはすみそうです。

◎ 鹿児島ぶらりまち歩き

「薩摩が生んだファーストレディー「篤姫ゆかりの地を歩く」
 ～大河ドラマロケ地と篤姫生家をめぐる～」
 かこしまボランティアガイドの案内によるまち歩きで新しい発見を!
 (他にも、「西郷隆盛ゆかりの地を歩く」など全12コース)
 ◎ 参加料 1人500円
 ◎ 実施日時 土・日・祝の午前10時～午後2時
 ◎ 事前予約制 前日の午後5時までに直接または電話かFAXで申し込む。
 ● 鹿児島まち歩き観光コーディネーション(西郷銅像横)



電話099(208)4701 FAX099(208)4703